



雄大な大阪湾を借景にした
関西随一のシーサイドコースは
時代に翻弄されながらも
上田治の傑作として残る

大阪湾に向かって打ちおろす3番ホール。

あと2コースで達成する。
2018・19年ベスト100は、あ
と3コース。2022・23年ベス
ト100は、あと6コースを回りきれ
ば達成する。おそらく日本人ゴル
ファーでも初めての達成者になるか
も知れない。

「桜の季節に淡輪でプレーしません
か?」と「大人の遠足」で提案されて、
昨年の3月に初めて訪れた。

淡輪(たんのわ)という名は、大阪
ゴルフクラブの通称である。この
コースのある大阪府泉南郡岬町界隈
を淡輪と呼んでいる。今では淡輪駅
よりも、隣のみさき公園駅が有名に
なっている。

以前は、鬱蒼とした林で海もよく
見られなかつたけれど、今は伐採し
て明るくなり、雄大な海がダイナ
ミックな借景になっていますよ」

中村さんの熱弁が、その気にさせ
てくれた。和歌山県に近く、むしろ
関東から関空まで飛行機で行つて、
そこからレンタカーでも近い。僕た
ちは、関空から連絡橋を渡つたほど
近いビジネスホテルに1泊した。

大阪ゴルフクラブは、知る人ぞ知
る名コースである。開場が1937
年。かれこれ90年近い歴史がある。
設計は上田治。「東の井上誠一、西の
上田治」と呼ばれる設計家だ。上田
は、京都帝大農学部で造園学を学ぶ
在学中廣野GCの建設に従事した。
アリソンと伊藤長蔵の下で働いてい
た。その後、廣野の支配人などを経
て設計家となつて、古賀GC、門司
GC、下関GC、小野GCを始めと
して、おそらく50コース以上設計し



行ってみたい!
時空のゴルフ旅

隠れた宝石

—倭奴國編—

第七回

春に訪れると、桜が海に映えて美しい。

「隠れた宝石」のようないわゆる名門コースとか、ビッグトーナメントを開催したとかいうコースではなく、気軽にかけてプレーできて、なんとも言えない味わいがあるコースを見つけて訪ねる。まだあります!「隠れた宝石」のカントリー倶楽部が。

大阪ゴルフクラブ

淡輪(たんのわ)

文・撮影/三田村昌鳳 細田榮久

**初期の設計のまま
残つていれば
世界の名コースに
選ばれること間違ひなし**

僕のゴルフ仲間の中で「大人の遠足」と呼んで、年に数回、旅とゴルフを愉しむイベントを実施している。もともとは、美味しい料理とお酒の席で、きまつて、ゴルフ談義になり、ゴルフへ行こうという話で締めくくるものを、話だけで終わらずに決行するというところまでどり着いた。誰かが行きたい提案をすれば実行する。

その仲間の一人に、中村祐治さんという男がいる。彼は、世界ベスト100(米ゴルフマガジン社)をコンプリートすべく長い間、ゴルフ旅をしている人物だ。

2020・21年度ベスト100は、



昭和12年ごろの造成中のコース。当初は24万坪、6700ヤード、パー72の規模だった。

三田村昌鳳

1949年2月24日神奈川県逗子市に生まれ。立正大学仏教学部を経て、週刊アサヒゴルフ副編集長ののち、1977年に独立。著書に「タイガー・ウッズ伝説の序章」「伝説創生」など。2011年に「ブッダに学ぶゴルフの道」(中央公論新社)を発売。日本プロゴルフ殿堂表彰選考委員、オフィシャルライター。日本ゴルフ協会オフィシャルライター。日蓮宗の僧侶。

隠れた宝石

—倭奴國編—

第七回

大阪ゴルフクラブ

淡輪(なみのわ)

右サイドが海で、谷越えのショットとなる145ヤードの14番パー3。

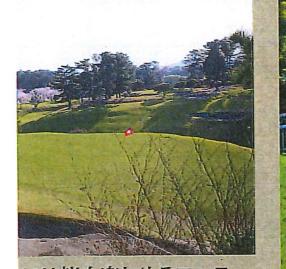


た自然なアンジュレーション
を生む。



開場当時のコースレイアウト図。

雑な地形と、松や灌木が鬱
いたことで、コース工事は困
ったという。



には桜も楽しめるコース。

一タ
レフクラブ
大阪府泉南郡岬町深日31
138年7月25日
田治、松山柱司
ホール、6402ヤード、パー72
車の場合は阪神高速湾岸線
南ICより約20キロ、30分。また
効率車道の泉南ICより約14キ
電車の場合は大阪市内からは
南海本線のみさき公園駅下
バスで3分。開催空港からは南
を利用し、泉佐野から特急サザ
公園駅へ。

海に面したホールは
全部で8ホール
「小柄だが、最強の剣豪」は
静かに佇む

日本では数少ない本格的なシーサイドコースだ。

ホールアウトして、真裏にある海を
右サイドにしながらの14番のバー
3。わずかな足取りだけれど、そこ
はペブルビーチの6番と7番ホール
の流れに似ている。
僕の先輩で週刊アサヒゴルフ時代
の上司だった田野辺重さん(故人)
は、日本のコースを1000コース
以上プレーして「美しい日本のゴル
フコース」という単行本の著者でも
ある。その大先輩が、大阪ゴルフク
ラブを称して「小柄だが、最強の剣
豪」と語っている。

言い得て妙である。原形をとどめ
ていれば、もつと全長距離もあって、
信じられないほどの名コースとな
り、世界に知れ渡るコースだったの
だろう。

世界ベスト100の基準でいえ
ば、もし6402ヤード、パー68な
ら、間違いなく注目されていたと
思いますね」と中村さん。写真のド
ロップからの撮影は、中村さんが惚
れ込んで撮影したものである。

それでも、淡輪は、堪能できる。
距離の短さを感じさせない地形の素
晴らしさがあるからだ。長く感じる。
そのフェアウェイの起伏や形状とい
う素晴らしい地形を生み出した上田治
の傑作だと思います。

ホールアウトして、真裏にある海を
右サイドにしながらの14番のバー
3。わずかな足取りだけれど、そこ
はペブルビーチの6番と7番ホール
の流れに似ている。
僕の先輩で週刊アサヒゴルフ時代
の上司だった田野辺重さん(故人)
は、日本のコースを1000コース
以上プレーして「美しい日本のゴル
フコース」という単行本の著者でも
ある。その大先輩が、大阪ゴルフク
ラブを称して「小柄だが、最強の剣
豪」と語っている。

言い得て妙である。原形をとどめ
ていれば、もつと全長距離もあって、
信じられないほどの名コースとな
り、世界に知れ渡るコースだったの
だろう。

世界ベスト100の基準でいえ
ば、もし6402ヤード、パー68な
ら、間違いなく注目されていたと
思いますね」と中村さん。写真のド
ロップからの撮影は、中村さんが惚
れ込んで撮影したものである。

それでも、淡輪は、堪能できる。
距離の短さを感じさせない地形の素
晴らしさがあるからだ。長く感じる。
そのフェアウェイの起伏や形状とい
う素晴らしい地形を生み出した上田治
の傑作だと思います。

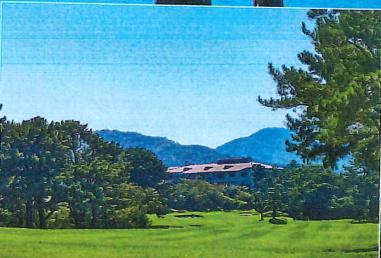
面白いことに、上田さんは水泳で
オリンピックにも行っているんです
よ。そして1936年のベルリン五
輪では審判員として行き、その帰り
に、英國・スコットランドなど、あ
ちこちのコースを巡って帰国しまし
た。そのときですね。本物のコース
理論がまだ日本では無知で評価はあ
まりされていなかつたので、どう
と中村さんが教えてくれた。

大阪ゴルフクラブが、戦後になっ
た土地を削減するなど、やや縮小さ
れたときに、そのホールは消滅して
いる。

桜の季節は、素晴らしい天気だつ
た。微風。快晴。気持ちよくスター
トできた。名物の7番ホール、レギュ
ラーティから387ヤード、パー
4。ここはドラマチックだった。ディ
ショットからば、谷越えで目の前に要
塞のように立ちはだかるフェアウェ
イ。その頂きまで行くと、今度は、
一気に広がる海に向かってグリーン
が見える。フェアウェイは、馬の背
となつており、1打目と次の2打目
の風景のギャップが、心躍らせた。
海に面したホールは、全部で8
ホールある。前半アウトの佳境がこ
の7番ホールだろうか。

僕が、なんともいえないルーティ
ンだなと思うのは、後半インの13番
ホール、パー4をホールアウトした
あと、14番ホール、パー3への道の
りである。

海に向かうグリーン。その13番を
見、世界に知れ渡るコースだったの
だろう。



2番ホールフェアウェイからクラブハウスを望む。

